

第58回 在宅ケアネット渋川 講演会レポート

【日時】 6月17日(金) 19:00~20:00 【会場】 プレヴェール渋川

【講師】

日本赤十字広島看護大学 名誉教授
POTTプロジェクト代表

迫田 綾子 先生



10年の研究、教育、実践から
“姿勢”が整えば・・・
食べられる人はもっている！



車いすのたわみ具合などを調整



バスタオルを端巻きにする



ずるずる落ちる場合は
背面にかけるだけでも



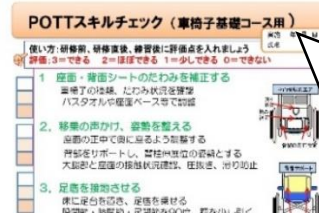
バスタオルのあて方を説明



背中側にいれる



参加者内訳	
職 種	人数(人)
医師、歯科医師、薬剤師	8
看護職(保健師・看護師)	14
PT/OT/ST	17
介護職員	20
介護支援専門員	10
歯科衛生士	2
ソーシャルワーカー/相談員	2
管理栄養士・栄養士	2
事務(行政含む)/その他	3
合計	78



各種 POTT スキル
チェックシート
は「POTT
プロジェクト」
のポータルサイ
トからダウンロ
ードできます。

今回は広島県から初来県！迫田先生にご登壇いただきました。POTT(P0=ポジショニングで、T=食べるよろこびを、T=伝える)の技術を伝えるため全国で“技術伝承”をされているそうです。実演もまじえて、分かりやすく教えていただき、現場で実践したいという声が多く聞かれました。各種情報が満載の「POTT プロジェクト」ポータルサイトはこちら→ <https://www.pott-program.jp>

【参加者の感想(一部抜粋)】

☆リクライニングの角度ごとや座位姿勢ごとの正しいポジショニングの具体的な話が聞け、非常に参考になりました。「技術は体験」という言葉が非常に印象的でした。

☆病院では円背の方が多いが、食事の際の姿勢までは目を向けることが難しかった。しかし、タオル数枚でポジショニングを行えるのであれば、少しずつ実践していきたい。食事のみではなく、理学療法でもポジショニングを使用していきたい。

【参加者の感想(一部抜粋)】

☆演習を含めて、理解が深まった。スキルチェックがあるため、実際にスタッフ間で演習をして評価して実施へつなげたい。自分ではできていると思っていても、できていないこともあるため、日々自己研鑽をしていきたい。

☆頭の角度が変わるだけで、舌の位置が変わることや、タオルをはさむだけで姿勢が変わることを実感し、姿勢の大切さが分かりました。とても分かりやすかったです。もう少し時間があると、なお良かったです。

☆バスタオルの3つに折り、背中や腰に当てると姿勢が安定するのは実際にやってみて実感することが出来ました。そのような場面になった時は、ぜひやってみたいと思います。

☆90度ルール、顎と胸の角度等、介護上とても参考になりました。